

小中の連携を柱に、地域・家庭と協力して、丹陽の子の健やかな成長をめざす

| | | |
|--------|---------------|---|
| 愛知県一宮市 | ● 活動名 | ● 関係する学校名 |
| | 丹陽中学校区学校運営協議会 | 一宮市立丹陽中学校、一宮市立丹陽小学校、一宮市立丹陽西小学校、一宮市立丹陽南小学校 |

| | | | | | |
|----------------------|---|------------|--|--------|-------|
| 設置年度 | 平成 20 年度 | 学級数 | 26 学級 | 児童・生徒数 | 876 人 |
| 学校運営協議会の委員数 | 26 人 | 学校運営協議員の属性 | 連区長、公民館長、民生児童委員協議会長、中学校同窓会長、児童育成協議会長、老人クラブ連合会長などの地域の団体の長やPTA会長、副会長、母親代表などのPTA役員、校長・教頭などの学校代表 | | |
| 地域学校協働本部との連携・協働体制の有無 | 無 | | | | |
| 参考 URL | http://www.school.city.ichinomiya.aichi.jp/~tanyo-j/ | | | | |

● 体制図



| | | |
|-------|-----------|----------------|
| ● 連絡先 | 一宮市立丹陽中学校 | ☎ 0586-28-8756 |
|-------|-----------|----------------|

丹陽中学校区では、家庭・地域・学校が連携し、また、小・中学校が連携して子供たちの確かな学びと育ちの実現をめざし、「地域に開かれ、家庭・地域に支えられる学校づくり」を目的として、平成 18 年度より文部科学省からの委嘱を受け、学校運営協議会設置に向けて調査研究を行った。平成 20 年度に丹陽中学校区学校運営協議会が設置され、小中合同の協議会と小中別の協議会や4つの領域部会、役員会が開催され、小中連携等が図られるようになった。その後、この動きは一宮市内の小中学校に広がり、平成 25 年度からは市内 61 校のすべての小中学校で学校運営協議会が設置されることになった。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

小中連携を柱に、義務教育 9 年間で子供たちの健やかな成長を図ろうと考えた。そのため、各学校の学校運営協議会が連携できるように、学校教育部会、家庭教育部会、地域・連携部会、調査広報部会の 4 つの領域部会を設け、各校 12 名（地域代表 4 名・保護者代表 4 名・教員代表 4 名）の委員が 4 部会のいずれかに所属し、活動を進めている。学校教育部会は、学習マナーの統一や漢字検定など学力向上を目指した取組を行い、家庭教育部会は、あいさつや家族のふれあいを促す取組、地域・連携部会は、小中学生の地域行事への参加や学校生活の向上に向けた小中学生による話し合いなどの取組、調査広報部会は、学校運営協議会だよりを作成・配布（地域約 11,000 戸）し、学校や子供たちの様子を紹介する取組を行っている。

【実施にあたっての工夫】

各学校ごとの学校運営協議会では、各校の教育活動を支援する取組や課題解決に向けた取組が話し合われるが、各領域部会での取組の状況も報告され、それぞれの学校で協力できることが話し合われ、実践につなげている。また、学校は地域の宝であるとの考えから、地域の各団体の長 14 名（連区長・公民館長・民生児童委員協議会長・中学校同窓会長・児童育成協議会長・老人クラブ連合会長など）、各領域部会長 4 名と小中学校の校長・教頭 8 名による役員会を各学期に 1 回開催し、地域の子供たちの健やかな成長を図るための話し合いや協力体制の構築を図っている。

● 事業を実施しての効果・成果

地域住民や保護者が学校運営に参画することで学校が抱える諸問題など、学校への理解が進むとともに、それぞれの当事者意識が高まり、地域全体で子供たちを育てようとする機運が高まってきた。また、小中連携を進めることで、子供たちに関わる諸問題を小中学校の教職員が共有でき、解決に向けた取組や義務教育 9 年間を見通した指導の在り方についての共通理解を深めることができた。一方、地域への情報発信や地域行事への関わりを増やすことで、小中学校への関心が高まり、見守り隊やゲストティーチャー等に参加する地域の方が増え、地域全体で子供たちを育てようという機運が高まってきた。



丹陽 4 校児童会・生徒会役員による小中合同会議



丹陽中学校区学校運営協議会役員会

ポイント

学校運営協議会が、4 つの領域部会に分かれ、それぞれ「ねらい」をもって活動計画をたてているところが大変参考になります